

【 狭心症 ・ 心筋梗塞 】

心臓カテーテル検査は、冠動脈の形状(狭窄部位の有無)や心臓(左心室)の動きを評価する検査で、狭心症や心筋梗塞などの疾患を診断するために行います。体表面で脈拍を触れることができる手首(橈骨動脈)、肘関節(肘動脈)あるいは足の付根(大腿動脈)より心臓までカテーテルという管を進め、カテーテル越しに造影剤を注入することで冠動脈や左心室を造影します。当院では年間800例に検査を行っています。心臓カテーテル検査を受ける患者さんはこのような入院生活を送ります。

冠動脈造影検査(CAG)2泊3日 を受ける患者さんへ					患者さん用
循環器内科	お名前:	責任担当医師:	担当看護師:		
項目	入院1日目 入院日	検査当日(検査前)	入院2日目 検査当日(検査中)	検査当日(検査後)	入院3日目 治療翌日・退院日
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 検査の必要性について理解、同意できる。 不安・疑問が生じた時の対処が分かる。 		<ul style="list-style-type: none"> 不整脈の出現がない。 胸痛出現時医師、看護師に報告できる。 刺入部の痛み出現時医師・看護師に報告できる。 刺入部からの安静を守る事ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活が理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 入院前に内服していたお薬があれば教えてください。 続けて内服して良いか医師に確認いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴(検査室にて)を行います。 お薬はいつも通り飲んでいただきます。 医師の指示により抗菌薬を内服していただきます。 抗菌薬は飲みきりで終了になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 心電図をつけます。(治療用) 検査の針を入れる部位を消毒し、局所麻酔の注射をします。 手首もしくは足の付け根の動脈より心臓まで長い管を入れます。 造影剤の影響で体がカチッと熱くなりますがすぐに落ち着きます。 検査が終了したら針を抜き、血が止まるまで医師が押さえます。 止血の確認をして赤いベルトで圧迫固定します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴終了後に抜針します。 赤いベルトは検査が終了してから3時間後に看護師が外します。 抗菌薬は飲みきり終了になります。 刺入部が痛いときは痛み止めを使います。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師が診察に来ます。 検査部位の消毒をします。 
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血 レントゲン 心電図 手足の血圧の比をみる検査 	<ul style="list-style-type: none"> 手足の血圧の比をみる検査 			
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> 検査室には看護師と歩いて行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査室で検査台に移動します。 治療中は安静が必要です。 痛みやかゆみなどがある時には動かさず、声にだして看護師にお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査室からベッドもしくは車椅子で病室に戻ります。 検査後1時間はベッド上で安静にしてください。その後は病棟内を自由に歩行できます。 固定したシーネは翌日の医師の診察時に外します。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査部位に問題がなければ、消毒後から制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 病状に応じた食事をお出します。 			<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静の場合は看護師がお手伝いします。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴ができます。 			<ul style="list-style-type: none"> 安静中の洗面は看護師がお手伝いします。 赤いベルトが取れたらお着替えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 翌日から入浴できます。 お身体を拭く際は蒸しタオルをご用意します。
排泄		<ul style="list-style-type: none"> 検査の前に必ず御手洗をお済ませください。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査中にトイレにいきたくなったらお知らせください。お手伝いさせていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静の場合は看護師がお手伝いします。 	
患者さん及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が入院時のオリエンテーションを行います。 医師が検査について説明します。 検査承諾書をお渡します。 カテーテル検査室の看護師から治療について説明があります。(初回のみ) 胸の痛みなど症状が出た時は看護師にお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 貴重品の管理にご注意下さい。 検査に行く前に入れ歯(ブリッジを含む)や装飾品は外してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 腕から治療される場合は上半身のみ衣服をとっていただきます。その後シャツで覆います。 足の付け根から治療される場合は衣服をすべてとっていただきます。 検査室では専任の看護師がお世話いたします。 気分が悪かったり、心配な事がありましたらご遠慮なくお申し出ください。 	<ul style="list-style-type: none"> 胸部症状出現時、気分が悪い時、針を刺したところの痛みや腫れがある時、腰痛時は看護師にお知らせください。 造影剤を使用しているため、水分は多めに摂ってください。水分制限のある方は制限範囲内で摂るようにお願いします。水分量については、看護師が検査後お知らせします。 安静中は看護師が身の回りのお世話をいたします。 医師から検査結果・退院後の生活について説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活についてわからないことがありましたら、ご相談ください。 次回外来受診日をお知らせします。 入院診療費請求書は退院前にお渡しいたします。 

ご質問やご不明な点がありましたら、担当医師または看護師にお伝えください。予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承ください。
東邦大学医療センター 大森病院
作成日:平成31年2月12日改訂